

平成21年度三島地域ふるさと創生基金事業 事業計画書（案）

■事業名

西山連峰登山マラソン第25回記念大会 5月17日(日)

■予算額

1,215,000円

■事業の目的

第25回西山連峰登山マラソン大会は、新潟県中越沖地震の被害により走行不可能となっていた登山コースが復活する。災害からの復興を記念して、有名ランナーを招致することで大会の盛り上げを図る。また、これとともに10月に開催されるトキめき新潟国体の会場である三島地域をPRし、第25回記念大会と新潟国体両方の盛り上げを図る。

■事業の実施による効果

- 有名ランナーを招待することで、地域の青少年を中心とした出場者の増員が見込まれるとともに、地域住民から沿道で声援を送ってもらうことにより、大会を一層盛り上げる。
- 招待ランナーによる講演会を行い、諦めないこと、努力すること、夢をもつことなどを話してもらうことで、来場者に夢を持つことのすばらしさを感じてもらう。
- 三島の特産品を来場者に展示・販売することで、三島物産のPRにつなげる。
- 中学生に調理を通して地場産食材の安全性と食の重要性を学んでもらう。

■事業の内容(網かけは主体となって活動する団体)

①西山連峰登山マラソン大会への有名ランナーの招待

- スタート・ゴールはみしま体育館とし、3km コースはみしま体育館周辺にコースを設定し、地域の人から応援していただく。

(三島体育協会・教育委員会三島分室)

- 子どもからお年寄りまで、年代を問わずに来場者が招待ランナーと一緒に走られるような方法を西山連峰登山マラソン大会実行委員会で検討する。

(三島体育協会・教育委員会三島分室・小中学校)

- 市内の太鼓団体や三島中学校の吹奏楽部、地域のよさこいグループを招待して、スタート前やランナーのゴールを待つ間に演奏などを披露してもらう。

(みしま文化協会・教育委員会三島分室・中学校・)

- マラソン大会終了後、招待ランナー(千葉真子など)による講演会を開催する。

(三島体育協会・教育委員会三島分室)

- スターターは、3km は市長、10km 及び 20km は招待選手とする。

(三島体育協会・教育委員会三島分室)

②三島の特産品の展示・販売

○出場者・来場者に三島の特産品の展示・販売を行う。

（三島町商工会・産業課）

○チラシを配って地域外の来場者に継続して三島の物産を利用してもらえるようにする。

（三島町商工会・三島観光推進協議会・産業課）

③大会前クリーン作戦の実施 5月中旬

○出場者と学校に協力を依頼し、大会前にコースのごみ拾いや枝葉の掃除を行う。

（観光推進協議会・三島体育協会・コミセン・産業課・教育委員会三島分室・小中学校）

○中学校の調理室を利用して中学生と三島地域食生活改善推進委員が協働で豚汁を調理し、クリーン作戦終了後に振る舞い、みんなで昼食を食べながら交流する。材料は三島地域内の農家から調達し、三島地域食生活改善推進委員から地場産の安全さや食の重要性などを話しながら中学生の調理を手伝ってもらう。

（三島地域食生活改善推進委員・コミセン・中学校・保健福祉課・産業課）

平成21年度三島地域ふるさと創生基金事業 事業計画書（案）

■事業名

地域資源再発見プロジェクト

■予算額

885,000円

■事業の目的

住民から環境美化に関心を持っていただくために、地域内のごみ拾いや花植えを実施し、国体やイベントで三島を訪れる人などから「三島はきれいなところ・花がいっぱいあるところ」と思ってもらえるようにする。

また、地域のイメージアップを図り、訪問者へのおもてなしの環境を整えることにより、地域資源の再発見や地域の安全を見直すきっかけとする。

■事業の実施による効果

- ごみ拾いなどの環境美化活動を通して住民がごみ問題に関心を持ち、環境美化を推進する。
- 地域内外からのイベント参加者に三島の美しさ、花のある素敵な環境を見てもらうことで、三島のイメージアップを図る。
- 町内会が地域の安全点検に取り組むことで、住民同士のつながりや高齢者の交通安全意識を高める。
- 三島の史跡や地域資源を学習、発信し、観光面への波及効果を高める。
- 和太鼓の人材を育成し、地域イベントを盛り上げるとともに、地域内外の交流を通して地域の活性化を図る。

■事業の内容（網かけは主体となって活動する団体）

①町内おもてなしクリーン作戦 5月中旬・9月下旬

- 町内会に協力を依頼し、国体にむけて町内のごみ拾いや枝葉の掃除を行う。5月の実施日は西山連峰登山マラソン大会前クリーン作戦と同日とする。同日に実施できない町内会は別の日に町内で実施してもらう。

（市民生活課・町内会・国体三島地域協力会・コミセン）

- クリーン作戦にあわせて、防災（災害危険箇所）、防犯（暗がりなど不審者出没）、交通安全（カーブミラーの不良や見通しの悪い交差点）などについて、町内の安全点検を実施し、点検結果を町内住民に啓発したり、マップを作成するなど活用していただく。

（町内会・コミセン・地域振興課・建設課）

- 参加者のためのお茶や、作業終了後に町内会で豚汁などを振る舞う場合には、材料費に対し5,000円程度を助成する。

（市民生活課・町内会）

②花いっぱい活動

○国体三島地域協力が実施するプランター設置及びコスモスロードの構築活動と連携して実施する。

【実施方法】

・学校や地域住民にプランター及び花の苗を提供し、自宅や地域で育ててもらおう。国体などのイベントで他地域から三島への来訪者がある際には、プランターに植えられた花を会場周辺や自宅前の沿道などに設置してもらおう。

(市民生活課・建設課・教育委員会三島分室・国体三島地域協力が会・コミセン)

・町内会や希望者に依頼し、みしま体育館周辺や他地域との境界付近の道路(三島新保と長岡、中永と出雲崎、瓜生と与板など)を中心に、道路わきや街路樹の下などに国体開催時期に開花している草花や多年草を植える。

(市民生活課・建設課・町内会・コミセン)

・みしま体育館脇の公園に、花(プランター)と長岡造形大学の学生の作品(彫刻、オブジェなど)を配置し、選手や来場者に見てもらおう。(大地の芸術祭のように。)

(市民生活課・建設課・コミセン・長岡造形大学)

③地域ふれあい活動

○鳥越里山自然観察ウォーキング

・鳥越福祉会が整備している里山の自然を楽しむウォーキングを開催する。動植物に詳しい地域のボランティアから里山の自然を説明してもらおう。

(鳥越福祉会・地域振興課)

・ウォーキング終了後に、参加者に豚汁を振る舞う。

(鳥越福祉会)

○三島のいいとこ学ぼう会

・三島地域の名所や歴史的財産、コミュニティ活動など、三島のアピールできるものについて学び合い、三島を紹介できるボランティアを育成する。また、学識経験者を講師として招き、住民が三島を見直す学習会を開催する。

(地域振興課・産業課・各種団体など)

④みしま和太鼓育成活動

○太鼓に興味のある人たちに呼びかけ、太鼓グループを育成し、三島地域のイベントを盛り上げる。

【具体的な方法】

・市内の太鼓団体から講師を招き、和太鼓の練習を行う。

(みしま文化協会・地域振興課)

・練習に使用する太鼓などの道具はリースする。

(地域振興課・みしま文化協会)

・参加者からは参加料(会費)と保険料を徴収し、講師謝礼と道具のリース料等に充てる。

(みしま文化協会・参加者・地域振興課)

・三島まつり等で太鼓を披露する。

(みしま文化協会・参加者・地域振興課・産業課・教育委員会三島分室)